

平成 13 年度日本光学会奨励賞および授賞式

本年度の日本光学会奨励賞は香川景一郎氏（奈良先端科学技術大学院大学物質創成工学科）ならび島田美帆氏（東京精神医学総合研究所）が受賞されることになりました。受賞対象論文は以下のとおりです。

香川景一郎氏：“Prototype demonstration of discrete correlation processor-2 based on high-speed optical image steering for large-fan-out reconfigurable optical interconnections,” Opt. Rev., 8, No. 1 (2001) 18-25.

島田美帆氏：“Explanation of human skin color by multiple linear regression analysis based on the modified lambert-beer law,” Opt. Rev., 7, No. 4 (2000) 348-352.

なお授賞式は下記のとおり Optics Japan 2001 にて行われます。

日 時： 2001 年 11 月 6 日（火） 9：00～10：20

場 所： 早稲田大学国際会議場井深ホール

平成 13 年度日本光学会北陸信越講演会

主 催： (社)応用物理学会日本光学会

日 時： 2001 年 11 月 5 日（月） 13：30～17：00

会 場： (株)レーザー応用工学センター会議室

長岡市深沢町上ノ山 2085 番地 16

電話 0258-46-6231 Fax 0258-47-0200

テーマ： 先端フォトニクス技術，米百俵の地から～新物質・新構造，極限計測から，ベンチャー事業まで～

プログラム： 講演時間 1 件 40 分（質疑応答を含む）

13：30～14：10 新世紀に展開するフォトニクス材料とベンチャー事業

北村健二（物質・材料研究機構物質研究所）

14：10～14：50 非線形フォトニック結晶の理論的アプローチ

上林利生（長岡技術科学大）

14：50～15：00 休 憩

15：00～15：40 結晶格子とレーザー干渉計を複合した小型絶対測長器の開発

明田川正人（長岡技術科学大）

15：40～16：20 ガラスのレーザー誘起結晶化と光機能性

小松高行（長岡技術科学大）

16：20～17：00 研究施設見学：(株)レーザー応用工学センター

参加費： 無料

参加申込： 準備の都合上，ご氏名，ご所属，連絡先を事前に下記までご連絡ください。

申込・問合せ先： 長岡技術科学大学化学系 藤原 巧

〒 940-2188 長岡市上富岡町 1603-1

電話 0258-47-9311 Fax 0258-47-9300

E-mail： fujiwara@chem.nagaokaut.ac.jp

会場の位置，交通手段などの案内：

<http://www1.sphere.ne.jp/alec/main.html>

第 3 回光波シンセシス研究会

主 催： 日本光学会（応用物理学会）光波シンセシス研究グループ

日 時： 2001 年 10 月 19 日（金） 13：00～16：10

会 場： 千葉大学工学部 1 号館 3 F 視聴覚室

テーマ： 環境計測と光波シンセシス

プログラム：

13：00～13：20 インTRODクトリートーク

13：20～14：20 シグナルシード OPG による 3 m 赤外光を用いたポータブルメタン漏洩可視化装置

Thomas Kulp (Sandia National Lab, USA)

14：20～14：50 ファブリーペロー共振器と周波数変調法を用いた微量気体検出

久世宏明（千葉大）

15：10～15：40 ファイバーレーザーを用いた中赤外光発生によるメタン検出

山口 滋（東海大）

15：40～16：10 LIF による燃焼過程の可視化

田村雅之（東京ガス）

問合せ先：

千葉大学工学部情報画像工学科 尾松孝茂

電話 043-290-3477 Fax 043-290-3490

E-mail: omatsu@image.tp.chiba-u.ac.jp

東京大学生産技術研究所 志村 努

電話 03-5452-6139 Fax 03-5452-6140

E-mail: shimura@iis.u-tokyo.ac.jp

レーザー顕微鏡研究会第 27 回講演会

主 催： レーザ顕微鏡研究会

協 賛： 応用物理学会，日本光学会，日本分光学会，計測自動制御学会，レーザー学会，日本生物物理学会，精

密工学会, 日本組織細胞化学会, 日本細胞生物学会,
日本解剖学会, 日本電子顕微鏡学会, 日本病理学会,
日本オプトメカトロニクス協会, 日本材料学会, 日本
材料科学会 (一部依頼中)

期 日: 2001年10月29, 30日

場 所: 一橋記念講堂 (東京都千代田区一ツ橋 2-1-2)

一般講演: レーザ顕微鏡の基礎・理論, 装置関係, バイオ
テクノロジー

シンポジウム: 「ミクロな場の刺激と反応」

近年のレーザー顕微鏡の発展に伴い, リアルタイムで
細胞等の反応を観測することが可能となってきた。本
講演では, 細胞へのさまざまな刺激法 (機械的刺激,
電氣的刺激, 化学的・光学的刺激等) と, それらの
刺激による反応をテーマとしてシンポジウムを行う。

講演予定者

川西 徹 (国立医薬品食品衛生研究所), 谷下一夫 (慶
應義塾大理工学部), 石田英之 (東海大医学部), 大幡
久之 (昭和大), 松野 彰 (帝京大医学部), 安達泰治
(神戸大工学部), 片岡則之 (川崎医大), 金子智行 (大
阪大大学院工学研究科) ほか

ナイトセッション: 「染めずに観る生物細胞」

ワークショップ: 「顕微鏡の使い方」

レーザー顕微鏡は今日広く普及しはじめてはいるもの
の, その正しい使用方法を体得せずに観測している場
合も多い。本ワークショップでは, 顕微鏡の基礎に関
する講演と, 実機を用いた実習により, 初学者が一応
の顕微鏡観測できるまでの基礎的な指導, 実習を行う。

チュートリアル講演 (講師予定者)

河田 聡 (大阪大大学院工学研究科)

高松哲郎 (京都府立医大)

伊東丈夫 (東海大医学部) ほか

実習

顕微鏡, SLM の正しい使い方 (実機による実習)

蛍光顕微鏡の使い方と像観察 (実機による実習)

参加費: 講演会のみ 無料 (レーザー顕微鏡研究会会員),
2,000円 (非会員)

ワークショップおよび講演会 30,000円 (予定)

講演申込締切: 2001年8月24日 (金)

原稿締切: 2001年9月14日 (金)

参加申込: 講演会 不要, ワークショップ ホームページ
から申込 (先着50名を予定)

問合せ先: 大阪大学基礎工学研究科システム人間系専攻
橋本 守

〒560-8531 大阪府豊中市待兼山 1-3

電話 06-6850-6216 Fax 06-6850-6212

E-mail: jsml@sml.me.es.osaka-u.ac.jp

予告なく内容が変更される場合がありますので, ホーム
ページ <http://sml.me.es.osaka-u.ac.jp/jsml/> でご確認ください。

平成13年度応用物理学会関西支部シンポジウム「環境 の世紀と応用物理」—環境問題の解決に寄与する諸技 術—

趣 旨: 近年, 急速な科学技術の進展とともに, 経済活動
の多様化が進むにつれ, 大気汚染, 海洋汚染, 酸性雨,
地球温暖化など, 自然生態系への影響が大きな問題と
なっています。21世紀は, 「環境の時代」とよばれてお
ります。現在, このような地球環境問題の解決に寄与
するさまざまな研究が進められています。応用物理に
かかわる技術はこれら環境問題に対してどのようにそ
の有用性を発揮していくことができるのでしょうか。
本シンポジウムでは, 環境問題の解決に寄与する研究
の第一線でご活躍されている研究者の方々に, 現状と
課題についてご講演いただき, 環境の世紀と応用物
理について考えます。

主 催: 応用物理学会関西支部

日 時: 2001年11月21日 (水) 10:00~17:00

場 所: 大阪大学附属図書館吹田分館視聴覚ホール (吹
田市山田丘 2-1 電話 06-6877-5111)

参加費: 主催学会員, 協賛学協会員 2,000円, 学生
1,000円, 一般 5,000円

定 員: 100名

参加申込先: 〒565-0871 吹田市山田丘 2-1 大阪大学大
学院工学研究科応用物理学専攻内 応用物理学会関西
支部事務局

電話 06-6879-4161 (火・木のみ)

Fax 06-6879-7860

E-mail: muraki@ap.eng.osaka-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.jsap.or.jp/kansai/gyou-jiyotei/sinpojiumu.html>

問合せ先: 大阪産業大学人間環境学部 福田和悟

〒574-8530 大東市中垣内 3丁目 1-1

電話 072-875-3001 Fax 072-871-1259

プログラム (予定):

10:10~11:10 ディーゼルエンジン排ガス中の浮遊性
粒子状物質の除去技術

片岡 勲 (大阪大大学院工学研究科)

11:10~12:10 レーザーを利用した微量ダイオキシン

計量技術

井澤靖和 (大阪大学レーザー核融合研究センター)

13:40~14:40 ガラスびんリサイクリングの現況: ガラスびん業界および日本山村硝子の取り組み

楠井宏明 (日本山村硝子 (株))

15:00~16:00 イオンビームを用いた大気環境現象の解明

笠原三紀夫 (京都大大学院エネルギー科学研究科)

16:00~17:00 内分泌攪乱物質の検出技術

松井三郎 (京都大学大学院工学研究科付属環境制御研究センター)

「フェムト秒テクノロジー」フォーラム—光技術で未来を拓く, フェムト秒テクノロジー—

超高速光デバイス技術と高輝度X線発生・計測技術について, 応用がみえてきた最新の技術成果を報告します。

主催: 技術研究組合フェムト秒テクノロジー研究機構 (FESTA), 独立行政法人産業技術総合研究所

後援: 経済産業省 (予定), 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO), (財)光産業技術振興協会

日時: 2001年10月24日 (水) 9:45~17:45

(フォーラム終了後, 懇親会を開催)

場所: こまばエミナース (東京都目黒区大橋 2-19-5, 井の頭線駒場東大前)

参加費: 無料 (事前登録をお願いします)

基調講演:

フェムト秒科学技術のチャレンジ

神谷武志 (大学評価・学位授与機構)

特別講演:

独立行政法人産業技術総合研究所におけるフェムト秒テクノロジープロジェクトの基盤技術

小林 直人 (産業技術総合研究所)

グローバルコンペティションの中での研究開発のあり方—フェムト秒テクノロジープロジェクトに期待するもの—

阪口 光人 (NEC ラボラトリーズ)

招待講演:

情報通信ネットワークの未来像—今後, 何が, どう変わって行くだろうか—

河内 正夫 (NTT 未来ねっと研究所)

主な発表テーマ:

- ・フェムト秒テクノロジープロジェクトは何を狙い, 何をどこまで実現したか
- ・超高速モード同期レーザーダイオード—40 Gb/s から 1

Tb/s まで—

- ・半導体レーザーを光源とする, 持ち運び可能な小型の 20 fs 超短パルス光源
- ・光ファイバの高次分散補償によるフェムト秒光パルスの 130 km 長距離伝送
- ・光ネットワークノードにおける新たな可能性を狙うサブピコ秒波長スイッチ
- ・ハイブリッド集積マツハツェンダー全光スイッチによる 168 Gb/s—10 Gb/s DEMUX
- ・有機 J 会合体薄膜スイッチによるテラビット光パルス列の 2 次元 DEMUX
- ・超短光パルスの内部構造を瞬時に測定するフェムト秒光スコープ
- ・フェムト秒レーザー光パルスと電子線の衝突によるフェムト秒高輝度 X 線の発生とその利用
- ・新構造半導体可飽和吸収鏡を用いた高安定モード同期固体レーザー
- ・200 m 離れて 50 μ m の差を読み取るフェムト秒レーザー高精度測距計
- ・RF フォトカソードを用いた高時間分解能分光分析装置
詳細案内ならびに申込みは, <http://www.festa.or.jp/meeting/HPindex.htm> をご覧ください。

理研シンポジウム 計測自動制御学会センシングフォトリクス部会講演会「新しい光応用技術 XVI」—日本で開発された最新の光科学・光工学の成果—

主催: 日本学術会議光学専門委員会, 計測自動制御学会センシングフォトリクス部会, 理化学研究所・光工学研究室

協賛: 日本学術会議応用物理学研究連絡委員会, 日本光学会, レーザー学会, 精密工学会, 光産業技術振興協会, 日本オプトメカトロニクス協会

日時: 2001年11月21日 (水) 10:00~17:00

場所: 理化学研究所・鈴木梅太郎ホール (和光市, 東武東上線和光市駅)

参加費: 無料 (予稿集当日配付), 終了後に懇親会 (有料)
開催趣旨: 日本で開発された最新の光科学・光工学の成果の紹介

プログラム (予定):

- 1) 光センシングとデジタル技術
山口一郎 (理研)
- 2) 広帯域光周波数コムとその応用
興梠元伸 (東工大)
- 3) 物質波の増幅, 物質波レーザー

- 久我隆弘 (東大院総合)
- 4) 物質波ホログラフィー
清水富士夫 (電通大)
- 5) フォトニック結晶と液晶
吉野勝美 (阪大)
- 6) コヒーレント軟X線の発生と応用
緑川克美 (理研)
- 7) 錐体配列と色知覚

山内泰樹 (富士ゼロックス)
光工学研究室の研究成果のポスター展示を予定
問合せ先: 理化学研究所・光工学研究室 加藤純一
〒351-0198 和光市広沢 2-1
電話 048-462-1111 (内線 8556) Fax 048-462-4653
E-mail: kato@optsun.riken.go.jp
ホームページ: <http://optsun.riken.go.jp/RikenSympo01j>

日本光学会 *news* の掲載申込み先:

〒226-8502 横浜市緑区長津田町 4259 番地 東京工業大学大学院総合理工学研究科電子機能システム専攻 伊藤治彦 電話 045-924-5459 Fax 045-924-5588 E-mail: ito@ae.titech.ac.jp
なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成13年度幹事 (*常任幹事)

幹事長:	岩田 耕一* (大阪府立大)	
副幹事長:	中楯 末三* (東京工芸大)	
前幹事長:	山口 一郎 (理研)	
庶務幹事:	大谷 幸利* (農工大)	塩川 孝紳* (旭光学)
	門野 博史* (埼玉大)	大瀧 達朗* (ニコン)
	中野 隆志* (産総研)	竹ノ内弘和* (NTT)
	伊藤 治彦* (東工大)	中井 武彦* (キャノン)
『光学』編集幹事:	堀 裕和* (山梨大)	岩井 俊昭 (北大)
	尾松 孝茂 (千葉大)	谷田 純 (阪大)
『OPTICAL REVIEW』編集・出版幹事:	一岡 芳樹* (奈良高専)	山口 一郎 (理研)
国際協力幹事:	高橋 信明 (防衛大)	石井 行弘 (能開大)
将来問題担当幹事:	山本 公明 (オリンパス)	黒川 隆志 (農工大)
	中島 啓幾 (早大)	
企画・事業担当幹事:	山田 秀則 (富士ゼロックス)	野崎 昭俊 (コニカ)
	高梨 健一 (リコー)	木村 茂治 (日立)
	橋本 信幸 (シチズン時計)	岩瀬扶佐子 (古河電工)
	森 峰生 (鈴鹿医療科学大)	志村 啓 (東芝)
	相津 佳永 (室蘭工大)	佐藤 学 (山形大)
	大高 真人 (福井大)	藤原 巧 (長岡技科大)
	栗村 直 (分子科学研)	塩野 照弘 (松下電器)
	早崎 芳夫 (徳島大)	森 邦彦 (鹿児島大)